

# やまなしエネルギービジョンの概要

## 山梨県におけるエネルギーの現状と主な課題

- エネルギー需給**  
電気料金の上昇等が企業活動、県民生活等に影響
- クリーンエネルギー**  
事業用太陽光発電が急激に増加し、景観や環境面等への影響等が発生
- 省エネルギー**  
高止まりしている民生部門のエネルギー消費の削減
- 産業振興**  
地域経済の活性化や創出、エネルギー供給力の充実等による基盤強化

## 基本理念

強い経済・しなやかな暮らしを支えるエネルギー社会の実現

目標年度 2030年度

目指すべき姿 県民生活 環境に優しいライフスタイルの定着  
産業 エネルギー供給基盤の強化、関連産業の振興  
地域 地域貢献型、地域循環型エネルギー利用の進展

エネルギー需給見通し（2030年度の目標）

電力自給率 70% 1 年間発電量 36.2億kWh（2014年度 36.5% 2 23億kWh）

- 2030年度の県内電力消費量に対するクリーンエネルギー等による発電量の割合
- 2012年度の県内電力消費量に対する割合

県内電力消費量 2012年度比 約17%削減（63億kWh→52億kWh）

県内熱消費量 2012年度比 約23%削減（27,272TJ→20,900TJ）

経済活性化によるエネルギー消費量増加を見込んだ上での削減量

## エネルギーを取り巻く現状

東日本大震災以降、原子力発電所の稼働停止等により電力需給が逼迫

大規模集中型のエネルギー供給体制の課題が明確化

化石燃料への依存が高まり、電気料金の上昇、温室効果ガス排出量も増加

エネルギー基本計画の策定、長期エネルギー需給見通し・温室効果ガス削減目標設定等、国のエネルギー政策が大きく変化

## 基本方針

県民生活、企業活動を支える地域エネルギー供給力の充実

地域資源を活用した多様なクリーンエネルギーの導入拡大

県民総参加によるスマートな省エネルギーの推進

クリーンエネルギーを活用した産業の育成と振興

## 施策の展開方向

県内企業への安価で安定したエネルギー供給  
天然ガスコージェネレーション、定置用燃料電池、蓄電池、V2H等の導入促進  
スマートコミュニティの推進  
高効率発電システムの誘致

自家消費型太陽光発電の導入促進  
事業用太陽光発電の適正導入の推進  
水力・小水力発電の導入促進  
木質バイオマスの利用推進  
再生可能エネルギー熱の利用拡大

エネルギー管理システム（EMS）の普及促進  
高い省エネ性能の住宅・建築物の普及促進  
高効率機器（LED等）の普及促進  
次世代自動車の導入促進  
地中熱ヒートポンプの活用促進

燃料電池関連産業の集積と育成  
水素エネルギー社会の実現の推進  
スマート工業団地の整備の推進  
農業分野でのクリーンエネルギーの利活用促進  
木質バイオマスの地域密着型利用の推進

## 2030年度の目標

コージェネレーション	2.8万kW	8.5万kW
家庭用燃料電池	439台	34,000台
高効率発電システムの誘致	0箇所	2箇所

太陽光発電(10kW未満)	8.9万kW	22万kW
水力発電(1000kW以上)	38万kW	40.3万kW
小水力発電(1000kW未満)	1万kW	1.5万kW
バイオマス発電	0.6万kW	3万kW

次世代自動車普及率	32.3%	70%
新規登録台数に占める割合		
地中熱ヒートポンプ導入	設置件数33件	900台

工業団地のスマート化	0箇所	2箇所
木質バイオマス利用施設	23施設	39施設

## 山梨県の電力自給率

